

温井ダム



アーチ式ダム
高さ日本第2位

温井ダムの概要

中国地方の中核都市である広島市は、太田川の下流部に位置しており、洪水から市街地を守ることが重要な課題でした。特に昭和47(1972)年の豪雨災害以降は、治水能力の向上が強く望まれていました。また、広島市周辺の再開発や都市化による給水人口の増加は、水道用水の安定供給を強く求められており、長年の課題となっていました。

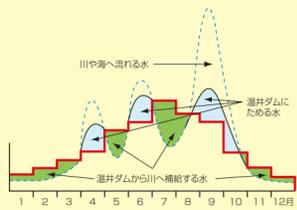
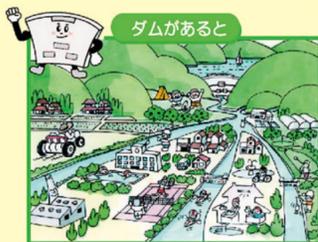
温井ダムは、このような状況をふまえて、太田川の支川滝山川の中流部に建設された太田川水系初の多目的ダムです。昭和52(1977)年4月より建設工事に着手し、平成14(2002)年3月に建設事業を完了しました。アーチ式のダムとしては、全国で二番目の高さ(156m)を誇り、ダム湖100選にも選ばれました。



国土交通省中国地方整備局
温井ダム管理所

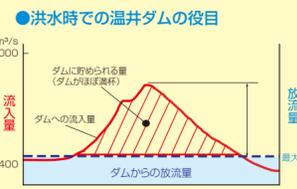
温井ダムのはたらき

ダムは河川の洪水調節や、水を有効に利用することを考えて、流域の自然と社会環境、生命と財産を守ります。温井ダムには、次のような目的があります。



洪水を防ぎます

梅雨や台風などで大雨が降った時、ダム湖に流れこむ水の量(流入量)に対しダム湖から出す水の量(放流量)を減らすことで、下流に一度に大量の水が流れないようにします。温井ダムは、1秒間に2,900m³の流入量のうち1,800m³をダム湖にためて、下流への放流量を少なくします。こうすることで、下流の洪水の被害が小さくなります。



うるおいのある川にします

近年の異常気象により、太田川流域でもしばしば水不足となっています。温井ダムでは、渇水の時でもダム湖にためた水を利用して魚などの生物が生きることができるように、また、水質が悪くならないようにしています。同時にその水は、都市化が進む下流域にとって頼りになる水辺を創り出し、うるおいのある川にしています。

水道用水を供給

太田川の水は、広島市、呉市などをはじめ瀬戸内海沿岸の島々の水道用水として利用されています【給水人口:約175万人(H28)】。温井ダムは、水道用水の需要に対応するため、広島県に対して1日最大10万m³、広島市に対して1日最大20万m³が太田川高瀬堰から取水されます。

発電のエネルギーになります

ダム下流左岸の温井発電所(中国電力)では、温井ダムから放流する水の落差を利用して発電(最大出力2,300kw)を行います。発電後の水はダム直下で滝山川に放流されます。

温井ダムは

★ **ダムの高さ 156m**
アーチ式では日本で2番!

基町クレド
(150m)より
6mも高い

★ **ダムの長さ 382m**
新幹線(16両)とほぼ同じ



★ **ダムの体積 81万m³**
ダムの幅:最大 33m
最小 8m

★ **水のたまる量 8200万m³**

広島市水道局年間給水量
(1億3,380万m³)の約0.6倍

★ **水のたまる広さ 1.6km²**

マツダスタジアム(グラウンドの広さ)
の約125倍の広さ



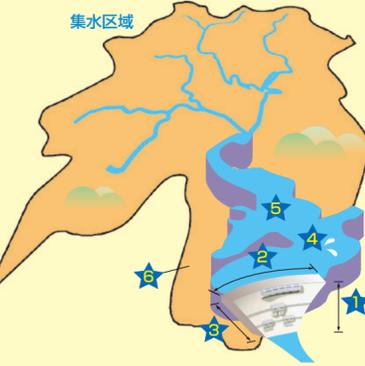
★ **水の集まってくる広さ 253km²**

安芸太田町(342.2km²)の
約0.7倍

アーチ式ダム高順位

順位	堤高(m)	ダム名	所在都道府県	ダム事業者	竣工年
1	186.0	黒部 富山	関西電力(株)	1963	
2	156.0	温井 広島	国土交通省	2001	
3	155.0	奈川渡 長野	東京電力(株)	1969	
4	140.0	川治 栃木	国土交通省	1983	
5	133.0	高根第1 岐阜	中部電力(株)	1969	

【ダム便覧2021】より



お願い

ダム放流による河川水位の上昇に注意!
ダムから放流する前や放流による急激な増水の時には、事前にサイレンを鳴らしてお知らせします。放流のサイレンや放送が聞こえたら、川の水が急増するため大変危険です。川の中に絶対入らないでください。また、川の中で遊んでいたり、仕事をしている人がいたら、すぐ川から出るように知らせてください。

●放流する場合の警報

約55秒	約5秒	約55秒	約5秒	約55秒
吹鳴	休止	吹鳴	休止	吹鳴

約3分間

温井ダムの放流設備

洪水調節用ゲート

洪水時の放流設備として、常用洪水吐き(コンジットゲート)と非常用洪水吐き(クレストゲート)があります。常用洪水吐きは72m³/s以上の放流を行う場合に使用され、4門で合計1,100m³/sの放流が可能です。ダムの最上部にある非常用洪水吐きは、サーチャージ水位(洪水時最高水位)を越える恐れがあるほどの大洪水が発生した時だけ使用されます。ゲートは5門あり、合計で2,000m³/sの放流が可能です。小洪水や洪水初期などには、中位標高放流設備2条(60m³/s)と利水放流設備を合わせて72m³/sまでの放流を行います。



選取取水設備

ダムにためている水の水温や水質の状況に応じて、取水する深さを自由に選ぶことができる施設です。日本で初めての多段・多重併用のゲートが備え付けられており、取水した水は利水放流管へと流れます。

利水放流設備

河川環境の保全及び水道用水の安定供給のための放流は、利水放流設備によってダム直下流に放流されます。選取取水設備で取水された水は圧力トンネル、放流管を通り、その一部が発電に利用されます。利水放流設備は、最大流量12m³/sまでが放流可能です。

温井ダムは
日本ダムアワード
2022 放流賞を
受賞しました。

温井ダム周辺マップ



レークサイド雑野原キャンプ場



瀧山峡大橋(猪山展望台から望む)



猪山スポーツ広場



川・森・文化・交流センター



お問い合わせ先
広島県山県郡安芸太田町大字加計5908-7
TEL(0826)22-2126



水の文化館(1F)
(太田川の自然環境、水利用等を展示)



歴史民俗資料館(2F)
(「山・川・生活」をテーマに展示)

お問い合わせ先
安芸太田町 産業観光課 TEL(0826)28-1961
(一社)地域商社あきおた TEL(0826)28-1800
HP:https://cs-akiota.or.jp

アクセス
自家用車:中国自動車道戸内IC下車後、国道191号から国道186号
を通り約20分。広島方面からは、加計スマートIC下車後、国道191号
へ約15分。